

『確かに、そして力強く ^{あす} 明日への挑戦』 ～新さがみはら創りをめざして～

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、城山町・藤野町との合併により、念願であった津久井郡 4 町との合併が完結し、新「相模原市」が誕生しました。これからの 50 年、100 年のまちづくりを見据えると歴史的な 1 年でございました。本市は人口 70 万を超える大きな都市となり、将来にわたって、その可能性を最大限に生かしたまちづくりに取り組まなければなりません。

こうした中、昨年はじめて、市政運営の舵取り役を担わせていただくことになった私にとっても激動の 1 年でございました。

今日、地方自治体、とりわけ市町村にあっては、少子高齢化や環境問題への人々の意識、産業および就業構造など、社会経済情勢が急激に変化する中、地方分権の進展ともあいまって、地域住民の最も身近な基礎自治体として求められる役割がますます重要になっております。

本市におきましては、こうした時代にあって、「自らの地域のことは自らの意思で決定し、その財源・責任は自らが持つ」という地方主権の理念に立ち、市民の皆様とともに、平成 22 年 4 月の政令指定都市への移行をめざしております。本年は政令指定都市ビジョンを策定するとともに、区制や区役所機能などについて、市民の皆さまにご説明させていただき、ご意見を伺い決定してまいります。また、本市の都市像、まちづくりの理念である、新しい総合計画の基本構想を策定し、首都圏南西部の広域交流拠点都市として、新たなまちづくりに取り組むための方針をお示しさせていただきます。

こうしたことから、平成 20 年は『確かに、そして力強く ^{あす} 明日への挑戦』
～新さがみはら創りをめざして～ をテーマに、

『少子高齢社会に対応するまちづくり』

『人と自然が共生するまちづくり』

『活力とにぎわいのあるまちづくり』

『安全で安心して暮らせるまちづくり』

『新市一体化のまちづくり』

の5つを重点施策として、市政運営を進めてまいります。

主な取り組みといたしまして、

1)「明日を担う人づくり」として、

子育てをしやすい環境づくりのため、「小児医療費助成制度」の拡充や児童クラブなどの放課後児童対策の充実を図るとともに、発達障害等により学校生活に不適應を起こしている児童・生徒が落ち着いて学習できる体制と情緒の安定を図ることができるよう、「支援教育学習指導補助員」を充実するなど、子どもたちの学びを支える教育施策を推進してまいります。

2)「政令指定都市移行を見据えた交流拠点づくり」として、

地域活力を支える交通網・都市基盤の整備のため、「小田急多摩線の延伸」や「新しい交通システム」などの新たな公共交通網の整備に向けた取り組みや、「さがみ縦貫道路」や津久井地域との新市一体化を推進するための「津久井広域道路」などの広域道路網の整備促進を図るとともに、取り組みの進んでいる市街地再開発事業の促進や「橋本地区都市再生緊急整備地域」における新たな複合市街地の形成などを進めてまいります。

3)「地球温暖化対策の身近な仕組みづくり」として、

限りある資源が循環する社会をめざし、「使用済み食用油のバイオディーゼル燃料化の検討」を進めるなど、市民の皆さまが身近なところから取り組んでいただける環境施策についても積極的に進めてまいります。

私は、本年、目の前に山積する市政運営の諸課題に対し、着実に取り組んでまいるとともに、市民の皆さまの、郷土さがみはらへの愛着と誇りを感じて、将来の“このまち”を展望した「明日への挑戦」を、確かに、そして力強く推し進めてまいる所存であります。

最後になりますが、本年が市民の皆さまにとって、輝かしい年となりますようにお祈り申し上げます。